



Heart to Heart

Smile man 510

率直に語る 後藤しげゆきニュース

2003
初夏号
Vol.24

発行/後藤茂之 後援会

[ホームページアドレス] <http://www.510.to> [メールアドレス] goto@510.to

●諏訪事務所/〒392-0017 諏訪市城南1-2542 ●塩尻事務所/〒399-0738 塩尻市大門七番町5-12 ●木曾事務所/〒397-0000 木曾郡木曾福島町上塩淵2690

危機克服 のために。

危機であることの認識

日本はかつて経験したこともない危機の中にあります。三五〇万人の失業者、年間三万人の自殺者、二十二万人の自己破産者を生み出す経済情勢ばかりではありません。少子高齢化が急速にすすむ中で、世代間負担の調整に対応していない社会保障制度に国民の不安が極限にまできています。凶悪な犯罪が増えています。教育現場の荒廃に多くの国民が心を痛めています。激変する国際情勢の中で日本の外交、安全保障政策は理念なき漂流を続けています。いったいどうしてこんな情勢を放置し続けているのか。我が国の現在と将来に責任をもつ我々は事態を直視し社会の再生に今すぐ取り組まねばなりません。

危機の時代の政治

こうした危機を乗り越えるには、理念や戦略を明確にし、国民的議論を巻き起こし、それを確実に実行していかなければなりません。そのために最もふさわしいのは、理念と政策に基づく政権交代の緊張感のある二大政党制という王道を実現することです。その実現に努力していますが、



▲理念や政策を堂々と発言する代議士。

現在の小選挙区比例代表並立制を採用した選挙制度や旧来の枠組を克服できない既存政党の体質によって、その実現には残念ながら更に年月を必要とすると言わざるを得ないのが現状です。

改革実現のために

しかし、ここで問題なのは、今まさに目の前にある危機への対応に間に合うかという事です。このまま五年も『判断しない政治』『実行しない政治』が続けば、我が国は本当に沈没してしまう。この危機を乗り越えるためには、今足元にある諸問題を一つづつ具体的に解決するため心ある者、改革派が結集して責任ある改革を実行するしかないと考えます。政治家には、危機克服にむけた改革のため泥をかぶつてもすすむ勇気が求められます。私達国民は既存の枠組にこだわらない理念や政策本位の政治家を一人でも多く現行制度のもとで当選させることが肝要です。みんなでがんばろう。



▲七年前に旧新進党の若手によって結成された「ミッション日本」も、この度の補選で永岡氏が当選し全員当選をはたしました。超党派(自民3、保守2、民主2、無所属2)の仲間です。



語る

後藤代議士

Q & A

Q 二大政党制の実現は？

A 二大政党制の実現、政策と理念にもとづく政党の再編成は絶対に必要です。

しかし、単なる野党統一など理念や基本政策の異なる既存政党による連携は、こうした再編成とは異質なものです。国民的議論を諸問題に巻き起こすためにも、既存政党の枠組にこだわらず、足元の改革を一つづつすすめることが必要です。

Q すべての人に公正であるために何が一番大切でしょうか？

A すべての人に、教育の機会の実質的平等を保障することです。第一にまず教育です。子供に感動と夢を持たせるのは大人の責任です。

Q 総選挙の時期は？

A 九月の自民党総裁選の後、十一月にもあるのではないかと言われています。いずれにせよ任期満了でも来年六月ですから、気を引き締めて体制づくりをしていきたいと思っています。宜しくお願いします。

Q プライベートに目標にしている減量は？

A 五月下旬から六月初旬までは風邪になやまされ、養生のため(?)かせつかく落した体重を元にもどしました。これから夏の行事、お祭りなどもありませんが、アルコールをすすめないでいただけると助かります。(笑)